

令和7年度第3回浦安市国民健康保険運営協議会議事録

1 開催日時 令和8年2月25日（水）午後1時30分～午後2時20分

2 開催場所 市役所10階 協働会議室

3 出席者

（委員）

塩谷祐司会長、大村洋子会長代理、佐藤悦子委員、望月幸雄委員、高梨芳彰委員、内田一好委員、岡崎雄一郎委員、田中靖祥委員、星野里佳委員、浅井一委員

全10名

（事務局）

山崎健康こども部長、宇田川健康こども部次長、佐藤国保年金課長、醍醐国保年金課課長補佐、戸邊国保年金課保険税係長、塚原主任保健師、吉田主任主事

4 議 事

協議事項

- (1) 令和8年度浦安市国民健康保険特別会計予算(案)について
- (2) 令和8年度浦安市国民健康保険事業計画(案)について

報告事項

- (1) 浦安市国民健康保険税条例の一部改正について（予定）

5 議事の概要

協議事項

(1) 令和8年度浦安市国民健康保険特別会計予算(案)について

令和8年度浦安市国民健康保険特別会計予算案について、事務局より概要を説明した後、質疑等に対して回答した。

(2) 令和8年度浦安市国民健康保険事業計画(案)について

令和8年度浦安市国民健康保険事業計画案について、事務局より概要を説明した後、質疑等に対して回答した。

報告事項

(1) 浦安市国民健康保険税条例の一部改正について(予定)

浦安市国民健康保険税条例の一部改正について、事務局より概要を説明した。

6 傍 聴

傍聴者：なし

7 会議経過（主な質疑）

各議事について、事務局から説明及び事前質問の回答を行った後、各委員からの質疑や意見に対して回答した。

各議事に関する委員からの質疑及び意見の概要は、次のとおりである。

協議事項

(1) 令和8年度浦安市国民健康保険特別会計予算(案)について

・委員

被保険者数が減少しているとの説明であるが、どのくらいの割合で減っているのか。近年の推移は。

・事務局

被保険者数について、令和5年度末は24,010人、令和6年度末は23,291人で、直近の令和7年度は12月末で22,928人である。令和5年度以前から見ても、一年度で700～800人程度減っている。社会保険の適用拡大などもあり、減少傾向にあると考える。

・委員

令和7年度の脳ドックと人間ドックの費用助成人数は。

・事務局

申請人数について、人間ドックは令和8年1月末で927名、脳ドックは令和7年12月末で291名となっている。

・委員

人間ドックの費用助成額は、15,000円から20,000円に上がったのか。

・事務局

人間ドックの費用助成は新設の事業で、当初より20,000円の助成である。なお、脳ドックは15,000円の助成となっている。

・委員

人間ドックと脳ドックの助成額に差があるのはなぜか。

・事務局

人間ドックの助成額2万円については、基本項目に対する1万円と、人間ドック助成要件として加えた4つの詳細検査に対する1万円の合計2万円としている。

・委員

脳ドックより人間ドックのほうが受診した場合の費用が掛かっているのか。

・事務局

医療機関で差はあるが、人間ドックのほうが高額である。

・委員

人間ドックや脳ドックを受けた方のその後の効果は出ているか。

・事務局

人間ドックの費用助成は今年度開始したばかりであるため、制度の効果をこれから分析していくところである。

人間ドックの費用を助成することによって受診結果を分析することができるため、効果を期待している。

・委員

分析結果を報告していただきたい。

・事務局

報告していく。

(2) 令和8年度浦安市国民健康保険事業計画(案)について

・委員

子ども・子育て支援金制度について周知を図るという説明があったが、この事業について国からの補助はあるのか。

・事務局

子ども・子育て支援金制度の導入に合わせ、国から令和7年度にシステム改修費等に対する補助制度が創設され、本市においても9月議会において、増額補正を行ったところである。

具体的には、システム改修費等にかかる費用や制度の施行に向けた体制整備として、保険税算定の準備に係る費用や、制度周知に関する費用が対象となっており、本市においても補助金を申請している。

(午後2時20分 終了)